

# 平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 凌雲中 学校 学級数 8

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標  
進んで学び 心豊かに 高め合う生徒

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

## 取組の概要

### 1 取組のきっかけ

昨年度末の学校評価によって、道徳の取り組みに改善が必要という職員の共通した認識が明らかになった。

とりわけ、今年度教科書が変わり、「各教科」との関連について年間指導計画の別葉を作成することが必要であることが校内研修でも話題となった。

そのため、校長が今年度の重点教育目標を上記のように設定し、その実現のため、各教科・領域での統一した取組を行うとともに、系統性や他の教科・領域等との関連に配慮することとした。

### 2 取組の位置付け

教務及び研修担当が中心となり教育課程の改善充実と、道徳と各教科、行事との関連について年間指導計画の別葉作成を進めている。

### 3 取組の方法

今年度はじめに自校の年間指導計画を、函館市の基準教育課程を基に作成し、実施しながら実態に合わせて見直しを加え次年度以降に備えている。

また、道徳の年間指導計画の別葉として、他教科や行事との関連を示し、各教科担当が1学期作成したものを使用できるよう整備している。

## 取組の成果と課題等

### ○ 取組の成果

・年度はじめに年間指導計画を、函館市の基準教育課程を基に作成し、実施しながら実態に合わせて見直しを加え、次年度以降に備えている。

(成果) → 保健体育(武道)について、当初10月に計画していたが、外部指導者の時間調整を配慮した指導計画の指導時期について調整を図り、11月～12月に実施で見直しを図った。

・道徳の年間指導計画の別葉として、他教科や行事との関連を示し、各教科担当が1学期作成したものを使用できるよう整備している。

(成果) → 11月に道徳の年間指導計画の別葉が完成し、随時見直しを図りながら次年度に備えている。  
各教科の学習内容と、道徳の指導内容との関連を意識しながら、道徳の時間を要とした指導をすることができた。

### ○ 教育課程検証の方法

・生徒による授業についての各教科の診断を行った。授業改善にいかすことをねらいとし、年2回の評価を計画。7月に1回目の授業評価を行った。計画的に実施するのが今年初年度と言うことで、実施方法、内容や集計結果の生かし方など手探りで進めている。年度末にもう一度実施する計画となっている。

・11月に学校評価(自己評価)と保護者アンケートを実施、学校評価準備委員会でその結果を考察し、それを受けて教務部で改善の方策を提案した。今後、学校評価準備委員会で次年度へ向けた準備を行う計画となっている。